



劇団プログラマ の話


闇の会




ある日、あるところで、
炎上案件が、
メラメラと燃え盛って
いました。




クライアントは、何とか事態を
收拾すべく、請負業者に
「金なり出さかう、
なんとかしてくれ！」
と懇願しました。



ところが、プロジェクトは
炎上し燃えカスとなっている
状態、いまさら金や人
材投入でなにかなる次
元ではありません。



請負業者は考えました。
「このプロジェクト、お蔵
入りにならないかなあ」
そうすれば、いまの苦し
みから脱却できます。




ゲーム業界において、開発
途中で企画が**ボツ**になるこ
とは良くある話。ただ、クラ
イアントは**やる気満々**です。
なんとか諦めさせる方法を
かんがえました。




請負業者のとした手段は、
「持久戦」

です。クライアントが諦
めるまで、延々とリスクを
繰り返す戦法にでました。




クライアントと
請負業者の
コンクラーベ
が始まりました。




クライアントは「金なり出す！」と言っています。そこで、人員を増やしてクライアントの予算を底付きさせようと考えました。




ここへ
「劇団プログラマ」
の登場です。




劇団プログラマとは、
ひたすら仕事をしている
「フリ」
をするプロフェッショナル
集団です。



いついかなる時にクライアント
トが来ても、
死にそうな形相
で必死に仕事をしています。
日報、週報、月報も
完璧です。




もちろん、
作業内容はすべて
フェイク
です。



こうして、4人のプロフェッショナルの活躍により、
半年後に見事にプロジェクトは
「お蔵入り」
になりました。

A decorative graphic on the left side of the image, consisting of a yellow area with a red wavy line border.

めでたし、
めでたし。



劇団プログラマのご用命
は、**弊社**まで！
今なら
お安くしておきます！



ほんとうにあった話です
ただし、請負業者は弊社ではございません。